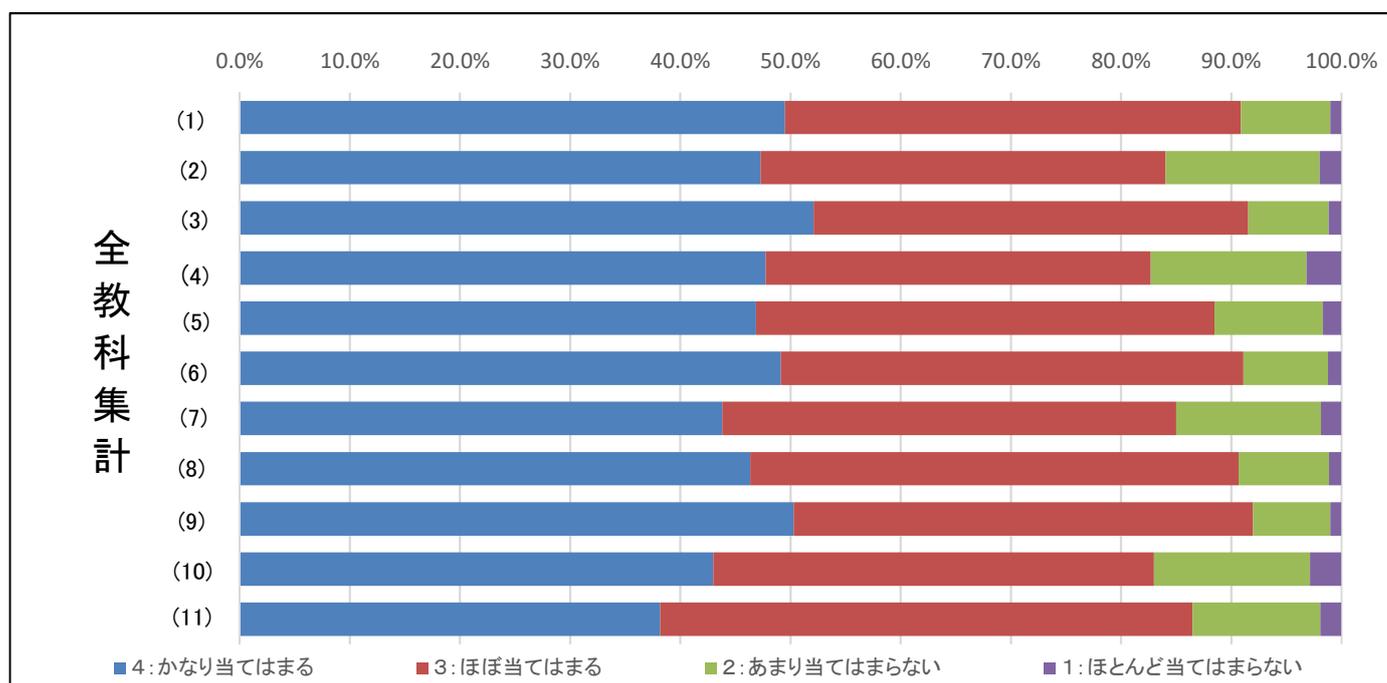
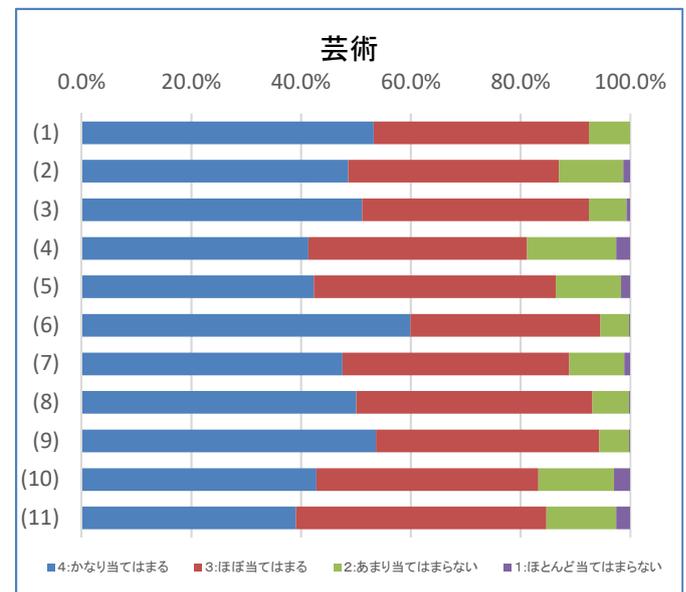
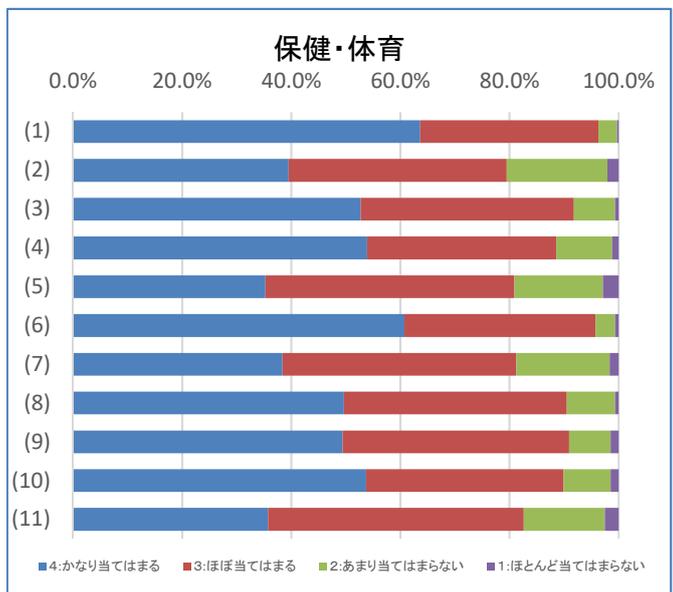
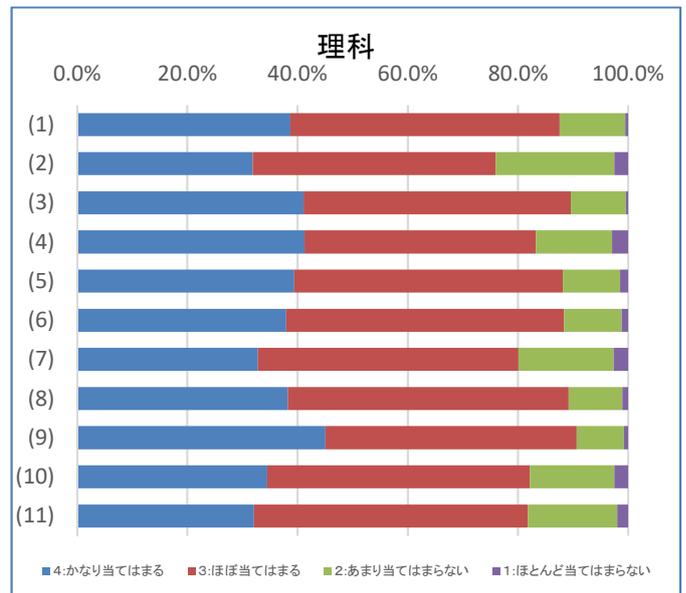
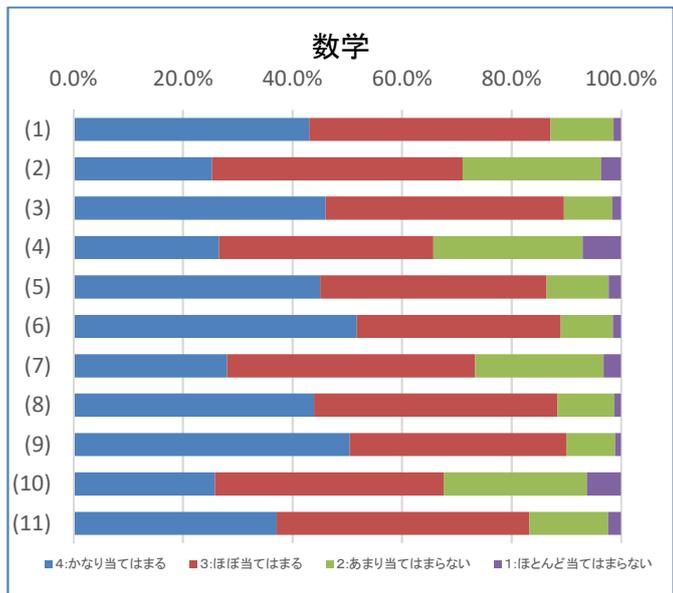
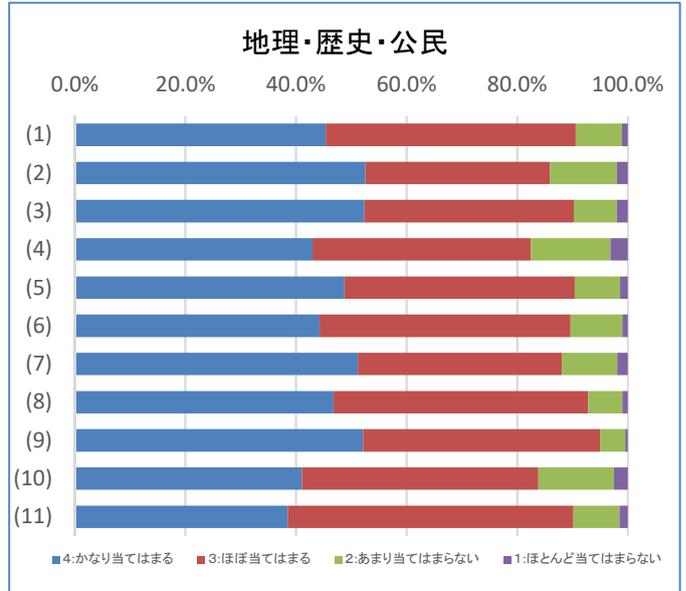
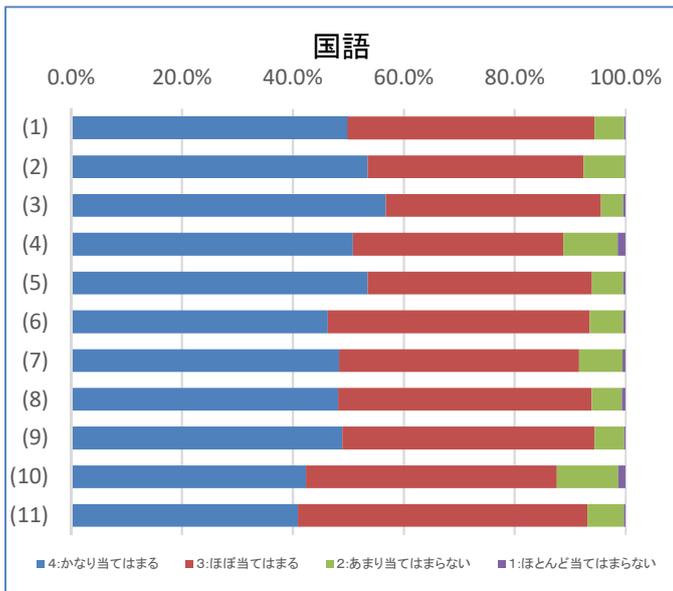


令和2年度 第1回「生徒による授業評価」集計結果一覧 (令和2年9月23日～29日実施)

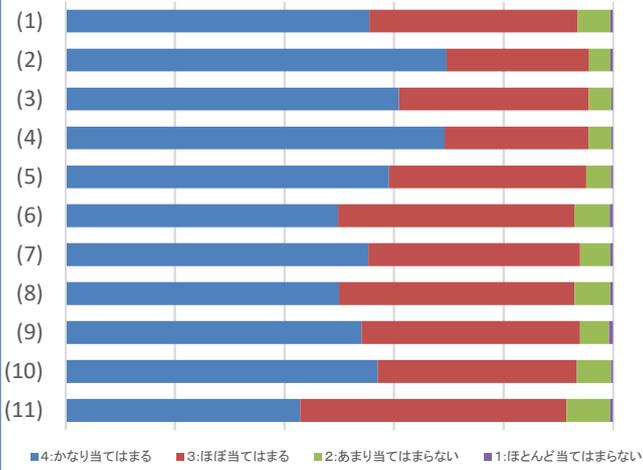
| 大項目 | 小項目 | |
|------------|--|---|
| 授業の在り方について | (1) | 毎時間の授業や単元(内容のまとめ)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある。 |
| | (2) | 単元(内容のまとめ)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。 |
| | (3) | 単元(内容のまとめ)の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある。 |
| | (4) | 協働的に課題を解決する場面がある。 |
| | (5) | 論理的に思考し、表現する学習活動がある。 |
| 学習の状況について | (6) | 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。 |
| | (7) | 他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。 |
| | (8) | 授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。 |
| | (9) | 授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた。 |
| | (10) | 協働的に課題解決に取り組むことができた。 |
| | (11) | 論理的に思考し、表現することができた。 |
| 評価について | 各授業内にて記名式で行い、「4:かなり当てはまる、3:ほぼ当てはまる、2:あまり当てはまらない、1:ほとんど当てはまらない」の4段階で評価する。 | |





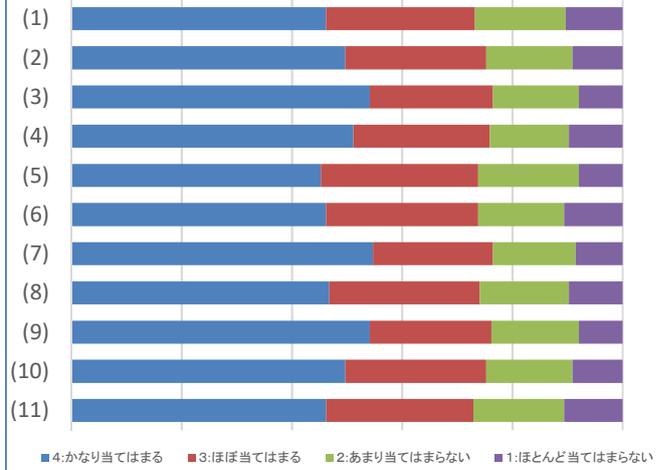
外国語・国際

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



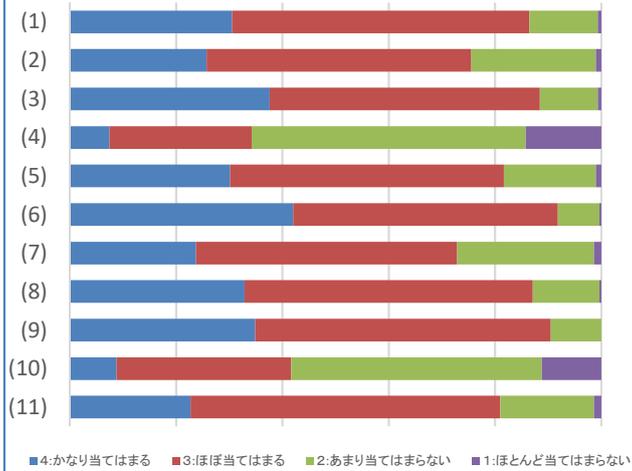
家庭・看護

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



情報

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



令和2年度 第1回「生徒による授業評価」教科検討事項

| 教科 | 授業評価分析結果・課題点 | 授業改善に向けての具体的取組み | |
|------------|--|---|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 ● コロナの影響もあると考えられるが、「協働的に課題解決に取り組むことができた。」の項目の評価が比較的低い。 | <ul style="list-style-type: none"> ● Classroomを活用した課題配信、連絡への満足度が高かったため、今後も活用法について教科会で共有する。 ● コロナ感染防止に十分留意し、グループワークなどの機会を設ける。 | |
| 公歴地 民史理 | <ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 ● 「協働的に課題解決に取り組むことができた。」の項目の評価が比較的低い。 | <ul style="list-style-type: none"> ● パワーポイントなどICTを活用した授業の満足度が高かったため、ICTを活用した教授法について教科会で共有する。 ● 科目によって評価は異なるが、コロナ感染防止に十分留意し、グループワークなどの機会を設ける。 | |
| 数学 | <ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 ● 「他者の考えを知り、自らの考えを広げ、深める」割合が低い。 | <ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍で難しい授業環境ではあったが、協働的な問題解決の場を作るよう、引き続き授業改善に努めたい。 | |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 | <ul style="list-style-type: none"> ● いくつかの科目において、他者の考えを知ったり、課題を解決したりする場が少ないという結果が読み取れたため、グループで課題解決を行えるような発問を授業に取り入れられるように教科会や授業見学等を通して研鑽に努める。 | |
| 体 育 健 | <ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 ● 「論理的に思考し、表現する」という言葉が含まれる項目がほかの項目に比べ満足度が低い。 | <ul style="list-style-type: none"> ● コロナの影響により活動が制限されるが、論理性を育み、協働的に活動できるよう引き続き授業改善に努める。 ● 生徒がより論理的に思考し、表現できる機会を設ける。グループワークを取り入れ議論し、答えを導き出して発表する機会を設ける。実技においては生徒同士で互いの動きを観察し、自身や他者の課題を見つけ、解決できるように互いにアドバイスし合う機会を設ける。 | |
| 芸術 | 音楽・演劇 | <ul style="list-style-type: none"> ● 概ね授業に対する満足度は高い。 ● 専門的なソフトに触れた満足感は概ねあったが、説明等が不十分だった。(音響実習) | <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒同士が意見交換を行うような指導計画を作成する。 ● 作品を作りながら、意見の交換等を随時行って、理解が足りない点を確認しつつ授業を進める。(音響実習) |
| | 美術・書道 | <ul style="list-style-type: none"> ● 概ね授業の在り方には満足していると考えられる。 ● 科目の課題によっては協働的に行うことが難しいものもある。また、後期への継続的な課題では考えをまとめたり、広げ、深めるところまで到達できなかったものもある。 ● 論理的思考や表現が十分でないと感じている生徒も見受けられた。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 今回は環境が整わず、行えなかった授業展開もあったため、今後は情勢を見ながら協働的な取り組みを増やしていく。 ● 時間をかけて論理的思考の構築を指導し表現を支援していく。 |
| 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 ● 「協働的に課題解決に取り組むことができた。」「論理的に思考することができた」の項目の評価が科目により低いものがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ● ペアワーク、グループワークなど形式的な手法に限らず、発問や単元の到達目標などの情報共有を科目内、科目間で行い、より深い学びができるよう努める。 | |
| 看 家 護 庭 | <ul style="list-style-type: none"> ● 概ね授業の在り方には満足していると考えられる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 環境が整わず、調理実習等実施できなかった授業展開もあった。状況を見ながら協働的な取り組みを増やしていきたい。 | |
| 情報 | <ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高4と3の評価の合計が80%近くになっているが、「かなり当てはまる」割合が高くなるようにしたい。 ● コロナ期間の関係もあり協働的な活動ができなかったので(4)(7)(10)の結果が低かった。 ● 1、2を選んだ生徒が20%近くいるので減らせるようにしていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 今後も最新の情報を取り入れてながら、授業改善を進めていく。 ● コロナの状況を考えながら行えるペアワークやグループワークを研究していく。 ● 生徒にとってわかりやすい授業を心掛ける。 | |